

iRMC S4(Integrated Remote Management Controller)

ご使用上の留意・注意事項

FUJITSU Server PRIMERGY に搭載されるサーバ監視プロセッサ iRMC S4(Integrated Remote Management Controller)に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますよう、お願いいたします。

2017 年 11 月
富士通株式会社

1. 【修正済み】LDAP 構成設定に関する制限事項 (対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.68F)

iRMC ファームウェア版数 7.68F へのアップデート、および iRMC ファームウェア版数 7.68F ご使用時、「ユーザ管理」-「LDAP 構成設定」-「ディレクトリ サービス E-mail 警告構成」-「LDAP E-mail 警告を有効にする」は、無効(✓なし)にする必要があります(工場出荷設定=無効)。

有効(✓あり)に設定すると iRMC 動作に不具合が発生しますのでご使用にならないでください。

E-mail 警告につきましては、「ユーザ管理」-「iRMC S4 User」-「E-mail 構成」ならびに「通知情報設定」-「E-mail 設定」にて E-mail による警告設定が可能ですので、本機能をご使用ください。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 7.69F 以降で解除されます。

2. 【修正済み】ログイン時の制限事項 (対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.68F)

対象サーバにログインした際、画面が移行しない場合があります。F5 キーを押下し、画面を再読み込みする事で画面移行することができます。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 7.69F 以降で解除されます。

3. 【修正済み】システム情報の表示に関する制限事項 (対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.68F)

「システム情報」-「システムの概要」からシステム情報、オペレーティングシステムの情報、ハードウェア情報が表示されない場合があります。なお、表示上の問題のみの為、システム稼働には影響ありません。

システム情報、オペレーティングシステムの情報、ハードウェア情報は、ServerView Operations Manager シングルシステムビューよりご確認ください。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 7.69F 以降で解除されます。

4. 【修正済み】SNMP コミュニティ名設定時の制限事項 (対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.65F / 7.68F)

「ネットワーク設定」-「SNMP」から、SNMP のコミュニティ名を設定する際、記号はご使用になれません。コミュニティ名設定時は、英数字のみをご使用ください。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 7.69F 以降で解除されます。

5. 【修正済み】 ネットワーク一覧の情報表示に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.65 F / 7.68F)

「システム情報」-「ネットワーク一覧」に、搭載されている NIC 情報(LAN カード、CNA カード、ファイバーチャネルカード、IB HCA カード等)が表示されない場合があります。なお、表示上の問題のみの為、システム稼働には影響ありません。

NIC 情報は、ServerView Operations Manager(「ネットワークインターフェース」メニュー)よりご確認ください。

※本制限は iRMC ファームウェア版数 7.69F 以降で解除されます。

6. Java 8 update 45(8u45)でのビデオリダイレクション(AVR)機能の留意について

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 全版)

※ 本事象は Java 8 update 51(8u51)以降の版数では発生いたしません。

Java 8 update 45 (2015 年 4 月 14 日公開) を適用した管理端末でビデオリダイレクションを起動する場合、プロキシサーバを使用する環境において、以下のメッセージを表示して本機能が動作しないことがあります。



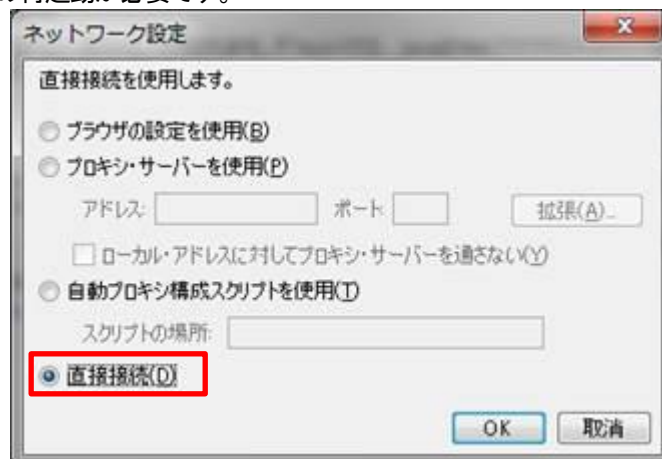
本事象は、以下のいずれかの方法で回避可能です。

- ① ビデオリダイレクションを起動する管理端末でプロキシサーバを利用しない設定にする。
- ② プロキシサーバの設定で java.com へのアクセスを許可する。

注) 上記①②、設定をするに当たり、お客様ネットワーク管理者に確認ください。

< 回避策①における管理端末の Java のネットワーク設定例 >

- (1) [スタート]メニューから [すべてのプログラム] → [Java] を選択します。
- (2) [Java の構成] をクリックして、[Java コントロール・パネル] ウィンドウを開きます。
- (3) [一般] タブを選択し、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。
- (4) [直接接続(D)] を選択し、[OK] ボタンを押下。設定を保存し、終了してください。なお、設定変更後は WEB ブラウザの再起動が必要です。



7. 【修正済み】 http サービス監視の制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.82F 以前)

サービス監視を行うアプリケーションにより iRMC の http サービスの監視を継続的に行った場合に、ごくまれに iRMC が誤動作する場合があります。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.05F 以降で解除されます。

8. 【修正済み】 Internet Explorer での HTML5 ビデオリダイレクション機能の制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

Internet Explorer では HTML5 でのビデオリダイレクション(AVR)機能が正常に動作しない場合があります。本機能は、Mozilla Firefox (Version 38 以上)にてサポートされます。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.24F 以降で解除されます。Internet Explorer Version 11 以降で使用可能です。

9. 【修正済み】 旧 iRMC ファームウェア版数で保存した設定情報の復元に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

iRMC Web インターフェースから、iRMC ファームウェアの設定情報を XML 形式のファイルへ保存、または保存した設定情報ファイルから復元(複製)する機能において、iRMC ファームウェア版数 7.82F 以前の版数にて保存した設定情報ファイルを、iRMC ファームウェア版数 8.05F 以降の iRMC ファームウェアに復元(複製)することが出来ません。

iRMC ファームウェア版数 8.05F 以降へアップデート後に、再度設定情報を保存いただくよう、お願い致します。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.08F 以降で解除されます。

10. 【修正済み】 E-mail 通知機能の SMTP サーバ認証ユーザ名に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

「通知情報設定」-「E-mail 設定」のプライマリおよびセカンダリ SMTP サーバ設定の設定項目にある認証ユーザ名において、「. (ドット)」、「- (ハイフン)」、「_ (アンダーバー)」以外の記号を使用したユーザ名は使用できません。本設定項目は「認証タイプ」を“認証を行う(REF2554)”を選択した場合に設定可能な項目です。

※ iRMC ファームウェア版数 8.08F 以降より使用可能な記号に「@(アットマーク)」が追加されます。

11. 【修正済み】 ライフサイクルマネジメントライセンス&モジュール(PYxLCM11)による自動アップデート機能ご使用時の制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以前)

ライフサイクルマネジメントライセンス&モジュール(PYxLCM11)をご使用時に、下記オプションにおける、ファームウェア版数 10.2.405.33 以前から 10.6.193.15 以降への自動アップデートに失敗する不具合があります。

品名	型名	ファームウェア名称
ポート拡張オプション(1000BASE-Tx2)	PYxLA302U	オンボード CNA ファームウェア
ポート拡張オプション(1000BASE-Tx4)	PYxLA304U	
ポート拡張オプション(10GBASE-Tx2)	PYxLA3A2U	
ポート拡張オプション(10GBASEx2)	PYxCN302U	
Dual port LAN カード(10GBASE)	PYxLA3B2(L)	Dual Port LAN カード(10GBASE) ファームウェア
コンバージド・ネットワーク・アダプタ	PYxCN302(L)	コンバージド・ネットワーク・アダプタ ファームウェア

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.08F 以降で解除されます。

12. ファームウェアアップデート時の SNMP 設定に関する留意事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.70F からのアップデート)

iRMC ファームウェア版数 7.70F において、設定項目「ネットワーク設定」-「SNMP」-「SNMP 有効」を [有効(✓あり)] に設定してご利用されている場合、ファームウェアアップデート後に、本設定が初期値 [無効(✓なし)] に変更されることがあります。

本機能をご利用の場合、ファームウェアアップデートの際には、本設定の確認および変更を行ってください。

本事象は、iRMC ファームウェア版数 7.70F からのアップデートに限られ、それ以外の版数からのアップデートでは発生いたしません。

13. 【修正済み】バーチャルメディア機能の同時使用に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

「バーチャルメディア」-「リモートイメージマウント」設定項目にある「リモート CD/DVD イメージオプション」と「リモートハードディスクイメージオプション」を同時に使用すると OS が仮想メディアを認識しなくなる場合があります。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.43F 以降で解除されます。

14. IPMI プロトコルでの iRMC ファームウェアとの通信における留意事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

iRMC ファームウェア版数 8.05F 以降において、IPMI プロトコルによる iRMC との通信が出来なくなる場合があります。IPMI 通信には、通信を行うソフトウェアが MD5 認証を使用している必要があります。

15. 【修正済み】SNMPv3 機能のご使用に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.08F 以降)

iRMC ファームウェアの再起動、またはサーバ AC 電源の Off-On 実施後に、SNMPv3 機能が動作しなくなる不具合が発生いたします。復旧には iRMC Web インターフェースの「ネットワーク設定」-「SNMP」より、「SNMP 一般構成」の設定画面を開き、「SNMP 有効」の再設定が必要です。一度、「SNMP 有効」のチェックボックスを解除した状態で「適用」を実施し、その後、チェックマークを再設定してから「適用」を実施してください。

なお、SNMPv1 及び SNMPv2c をご利用時には、本不具合は発生いたしません。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.24F 以降で解除されます。

16. HTML5 ビデオリダイレクションでのバーチャルメディア機能に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.05F 以降)

HTML5 でのビデオリダイレクションをご利用時、バーチャルメディア機能でマウント可能なメディアイメージは ISO イメージのみをサポートしています。また同時にマウント可能なメディアは 1 つのみとなります。

その他形式のメディアイメージのマウントや、複数メディアのマウントする場合は、Java Web Start 版のビデオリダイレクション機能をご利用ください。

17. HTML5 ビデオリダイレクションでの ServerView Installation Manager ご利用に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.24F 以降)

ServerView Installation Manager での OS のインストールを行う場合、HTML5 での画面内で、表示が止まる(インストールが進んでいないように見える)など正常に画面出力されない場合があります。

リモート環境で OS インストールを行う場合は、Java Web Start 版のビデオリダイレクション機能をご利用ください。

18. 【修正済み】ライフサイクルマネジメントライセンス&モジュールのデプロイメント機能に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.24F 以降)

iRMC Web インターフェースの「Lifecycle Management」-「デプロイメント」機能はご利用になれません。
なお、本項目はライフサイクルマネジメントライセンス&モジュール (PYxLCM11) を搭載している場合のみ表示されます。

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.43F 以降で解除されます。

19. NMI 発行に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.24F 以降)

iRMC Web インターフェース「電源制御」-「電源投入/切断」画面の、「電源制御」の設定項目から「NMI 発行」を実行した際に、SEL(システムイベントログ)にその旨がログされません。本ログは iRMC S4 イベントログから確認が可能です。

20. iRMC 管理 LAN ポートの通信速度に関する留意事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 全版)

iRMC と接続される HUB 間での通信速度設定は同じ速度設定にしてください。一方が Auto 設定でもう一方が速度固定にされた場合には半二重での接続となり、エラー率が上がって正常な通信が出来なくなります。

21. HTML5 ビデオリダイレクションでの日本語キーボードに関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 8.43F 以降)

iRMC ファームウェア版数 8.43F 以降において、HTML5 を使用したビデオリダイレクション機能で、日本語キーボードによる入力が可能となりました。本機能を Mozilla Firefox にてご利用された場合、下記に示す一部の記号が入力できません。

その他の Web ブラウザをご使用になられるか、Java Web Start 版のビデオリダイレクション機能をご利用ください。

入力不可記号:

「= (イコール)」、 「- (ハイフン)」、 「@ (アットマーク)」、 「` (アポストロフィー)」、 「* (アスタリスク)」、 「: (コロン)」、 「_ (アンダーバー)」、 「^ (caret)」、 「~ (チルダ)」
--

※ 本制限は iRMC ファームウェア版数 8.64F 以降で解除されます。

22. RAID 情報のバックグラウンドタスク表示に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.16F 以降)

iRMC Web インターフェースの「RAID 情報」-「物理ディスク」-「詳細」からリビルド等のバックグラウンドタスクの予測残り時間が表示されますが、正しい数値が表示されません。現在の進捗 [%]には正しい数値が表示されます。

予測残り時間は、ServerView RAID Manager にて確認が可能です。Agentless 環境等、その他の確認手順につきましては、下記の URL よりマニュアルデータベース「MANUALS」にアクセスいただき、ご利用の SAS アレイコントローラカードの手順書をご参照ください。

<http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php?l=ja>

23. SMART (HDD 故障予測) 発生時のドライブ情報表示に関する制限事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 7.16F 以降)

iRMC Web インターフェースの「RAID 情報」メニューにて SMART (故障予測) 状態のドライブの情報を表示した際、下記の不具合となります。

- 情報表示アイコンが正常表示 (緑) のままとなります。
- 状態が「Operational」のままとなります。

表示される情報のうち、SMART (故障予測) 状態の検出を示す「SMART エラー」項は正しく表示されます。SMART (故障予測) エラーの検出時、システムイベントログ (SEL) へのログ記録は正しく行われます。SMART (故障予測) エラーの検出時、CSS ランプは正しく点灯します。

24. Java 8 update 131(8u131)以降でのビデオリダイレクション(AVR)機能の留意について (対象 iRMC ファームウェア版数 : 全版)

Java 8 update 131 (2017 年 4 月 18 日公開) 以降を適用した管理端末でビデオリダイレクションを起動する場合、以下のメッセージを表示して本機能が動作しなくなる場合があります。



本事象は、Java8 update131にてセキュリティポリシーが変更になりMD5にて署名されたjarファイルが除外リストに追加されたことによるものです。

本事象は、以下のいずれかの方法で回避可能です。

- ① Java 版のビデオリダイレクションを使用するときは Java のセキュリティ設定ファイルを修正し除外リストから MD5 を削除する。
- ② HTML5 版のビデオリダイレクション機能を使用する。

< 回避策①における管理端末の Java のセキュリティ設定ファイルの修正例 >

(1) Java のセキュリティ設定ファイルを開く。

Windows の場合(例: C:\Program Files (x86)\Java\jre1.8.0_(update 版数)\lib\security\java.security)

Linux の場合(例: /usr/java/jre1.8.0_(update 版数)/lib/security/java.security)

(2) 下記の記載箇所を修正する。

修正前: jdk.jar.disabledAlgorithms=MD2, MD5, RSA keySize < 1024

修正後: jdk.jar.disabledAlgorithms=MD2, RSA keySize < 1024

※本回避手段を適用後、MD5にて署名されたjarファイルが使用可能となります。

※本回避作業は Java 版のビデオリダイレクション機能を使用するときのみ実施し、ご使用後は設定を元に戻してください。

※次回の Java の更新後にも、同様に更新後 Java 版数フォルダ内のセキュリティ設定ファイルの変更が必要になる場合があります。

25. テキストコンソールリダイレクションの留意事項

(対象 iRMC ファームウェア版数 : 全版)

テキストコンソールリダイレクションを利用するための設定は、使用する OS に依存します。各 OS のマニュアルを参照願います。

26. iRMC 管理 LAN ポートの「LAN 速度ランプ」に関する留意事項

(対象 iRMC ファームウェア版数：全版)

iRMC 管理 LAN ポートの「LAN 速度ランプ」が黄色と緑色で交互に点滅する場合があります。これは通信速度のネゴシエーションに失敗している場合に発生します。iRMC と接続される LAN スイッチ(あるいはパソコン)間での通信速度設定を同じ速度設定にしてください。iRMC LAN 管理ポートのデフォルトの通信速度設定は「Auto Negotiation」になっていますが解消されない場合は、iRMC LAN 管理ポートおよび LAN スイッチ(あるいはパソコン)の通信速度を固定に設定してください。

また、本現象は対向先の LAN スイッチの省電カイサーネット機能(EEE)が有効になっている場合にも発生する場合があります。LAN ポートの通信速度設定を見直しても現象が解消されない場合は、LAN スイッチの省電カイサーネット機能(EEE)を無効に設定してください。

27. アクティベーションキー生成に関する留意事項

アクティベーションキー生成時、「サーバモデル」をプルダウンより選択する際、適用しようとしている機種(モデル名)が表示されない場合には、下記メール窓口以下の必要情報を添付してアクティベーションキーの生成を依頼してください。



PRIMERGY サーバ製品のライセンス登録へようこそ。下記の必須情報をご記入ください。製品情報登録完了後、ご購入頂いたライセンス機能を有効にするためのアクティベーションキーがメールにて送信されます。PRIMERGYサーバのiRMC Web インターフェースよりアクティベーションキーをご入力ください。

(必要情報)

- アクティベーションキーを適用する機種および号機情報
- リモートマネジメントコントローラアップグレード(PY-RMC411)ご購入時のオーダーNo. オーダーNo.が分からない場合は担当営業にお問い合わせください。

(メール窓口)

メールアドレス: fj-license-help@dl.jp.fujitsu.com

メール件名: アクティベーションキー生成依頼

宛先名: アクティベーションキー生成窓口

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝日及び 12月30日～1月3日を除く)

発行に必要な営業日数: 3営業日

28. iRMC および BIOS の設定情報のバックアップについての留意事項

通常、保守作業では iRMC および BIOS の設定を引き継ぎます(*)が、万々に備えて、設定情報のバックアップを取得願います。

バックアップの取得、再適用の方法は、「iRMC S4 Web インターフェース」マニュアルの下記項をご参照ください。

* ブレードサーバには本機能はありません。

iRMC: 「設定の保存」項

BIOS: 「バックアップ/リストア」項

<http://manuals.ts.fujitsu.com/file/12768/irmc-s4-web-interface-jp.pdf>